

「第19回紀伊半島三県議会交流会議」の概要は、次のとおりです。

- 1 開催日 令和 7年 9月 1日(月曜日)
- 2 開催場所 「橿原神宮養正殿」(奈良県橿原市久米町 934 番地)
- 3 参加者 奈良県議会 田中 惟允 議長及び県議会議員 計 7名
三重県議会 服部 富男 議長及び県議会議員 計 6名
和歌山県議会 岩田 弘彦 議長及び県議会議員 計 7名
総計20名

- 4 合意内容 次のとおり、三県が協力の上、今後とも取り組んでいくことで合意した。

議題1:紀伊半島地域における獣害被害について

3県におけるツキノワグマの目撃情報と被害情報についての報告があり、更なる人的被害の発生に対する懸念が非常に高まってきていること、並びに今後3県がより一層連携して対処していく必要があることについて認識が一致しました。

本日の意見交換を踏まえ、今後の3県の取組みとして、

- ・各県で特定計画を策定し、紀伊半島個体群としての保護・管理に向けた対策が円滑に進むよう認識を共有していくこと、
- ・紀伊半島ツキノワグマ広域保護管理協議会での出没・捕獲・被害状況等に関する情報交換と3県での生息数推定を引き続き実施していくこと、
- ・以上の取組みを強力に進めていくため、上記協議会予算の確保等について国等に要望を行っていくこと で合意しました。

議題2:紀伊半島アンカールートの整備促進について

紀伊半島一周高速道路、京奈和自動車道、国道 168 号五條新宮道路、国道 169 号奈良中部熊野道路、奥瀬熊野道路からなる「紀伊半島アンカールート」は、三県を巡る観光振興や産業の振興、企業立地など地域活性化のための重要な幹線道路であるとともに、大規模災害による被災地域への迅速な救援や復旧復興活動の輸送路確保のための大切な命の道であるとの認識を再確認しました。

以上の認識のもと、

- ・「紀伊半島アンカールート」の整備促進と未事業化区間の早期事業化について国への要望を行うこと、
- ・引き続き三県において、ミッシングリンクなど事業中区間の道路整備状況等について情報共有し、三県で連携して国への要望を行うこと、
- ・第1次国土強靱化実施中期計画の推進に必要な予算を通常道路予算とは別枠で満額確保するよう国へ要望を行うこと で合意しました。